

定例会報告2002.3月

サポート・トレッキング・グループ

灰ヶ峰登山路補修作戦

概要 灰ヶ峰 登山路（7～8合目）階段新設時（約12年前）から窪んだ階段の補修。
窪んだ丸太の階段までバラスを人力で運搬して階段にバラスを人力で敷詰める。

参加者 10名

作業具体案

1. 男子は頂上の横にダンプカーで降ろされたバラスをスコップで土嚢袋に3/1詰め込む。（土嚢袋100枚）
2. 婦人は、頂上より海上自衛隊呉総監部のレーダー反射板まで下山して、反射板前の運搬用通路（登山路）の草刈りをする。
3. バラス入り土嚢を四輪車で300m先の鎖の有る斜面まで、ピストン輸送する。
4. 鎖の有る斜面から、レーダー反射板まえを通過して休憩所まで、一輪車、三台で一人ずつで運搬する。坂道は、人が車より前側に立って運搬する。
5. 休憩所前からは、土嚢袋を窪地の階段まで全員が上下一列に、左右向かい合わせに並んで、土嚢を手渡、リレー運搬する。

事前準備

1. 鎖の掛けられた斜面は、鎖を竹と紐しばって、出入り口を広げて通行を確保する。
2. 鎖の前の側溝には、ベニヤ板を渡して通行を確保する。

結果

1. 一輪車を一人で登るのは、手間と時間がかかりは無理だった。
2. 坂道で、土嚢を下ろしてその時点から、腕に抱えて運ぶが、土嚢を引き摺ることを思いついて、坂道ならびに階段をひきづって下り、バラスを運ぶ。
3. 土嚢袋の一部は平成11.6.29の呉地区の集中豪雨の災害でボランティアが使用したものを再利用したので、43袋に穴が空いた。
4. バラス入りの土嚢袋を上から下にひこずる事で労力と時間が大変節約できた。
5. ダンプカーで下ろされたバラスの3/2を運搬して、階段に敷くことが出来た、砂利だけでは地面が固まらず、大変適切な資材を提供いただいた。
6. 残ったバラスの活用を検討しなければならない。
7. 窪んだ丸太の階段を66段にバラスを敷き込むことが出来た。
8. 土嚢にバラスの入れすぎがあり、重くてかえって手間取った。

反省

1. 参加者が元気を出しすぎたので予想以上に作業が進んだが疲労が心配。
2. 坂道に一輪車の使用は無駄で土嚢袋をひきづり事を初めから考えるべきだった。

(備考)

1. 呉市消防団の車両が何台も頂上に視察に来た、数人が自主的に土嚢詰めを手伝う。
2. 呉森林サポーターの島津江 徹氏の紹介で新たに新谷馨氏（写真愛好家）が参加されました。



灰が峰8合目き
つい階段、階段
が窪んで大変
歩きづらい
整備前



窪んだ階段に
バラスを運ん
で埋め込み、あ
るき易く出来
た
整備後



登山路階段が酷く窪み、大変歩き難いので、バラスを提供してもらって、ダンプカーで下ろした、バラスを土嚢に詰替えている所